

# 令和 3 年度 社会福祉法人 聖マリア会 事業計画

## 1. 基本方針

介護保険制度開始から 20 年が過ぎ、2019 年度の介護費用は約 10 兆 5 千億円に上り、2001 年度の介護費用の約 2.4 倍に膨らんでいます。今後団塊の世代が全員 75 歳以上となる 2025 年以降急速に介護費用の増加が見込まれ、その後 2040 年には、「支え手」となる現役世代人口が急速に減少し「少なくなる支え手」で「多くの高齢者」を支えなければならず公的介護保険制度の財政基盤が非常に危うくなっていくと考えられます。

さて、2021 年度の介護報酬改定（原則 3 年ごとに見直し）は、+0.7%（前回 2018 年度は+0.54%）と 2 期連続のプラス改定となりましたが、コロナ禍の影響もあり介護事業を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いています。

また、介護現場では、介護人材の確保が難しい中で、限られた人材で介護の質や安全を担保とした上で、いかに効率的なサービス提供を行うかが喫緊の重要な課題となっています。

新型コロナウイルス感染症が発生する中で、引き続き施設内感染防止対策の強化を図るとともに、職員の処遇改善や入職後の職員教育や成長を後押しする環境の整備を行い職員の定着に向けた取り組みを推進していきます。

また、今後国の助成金や補助金の支援を検討し、ICT（情報通信技術）を活用した見守り機器を導入し夜間業務の緩和や文書負担の軽減を図るなど介護現場の業務負担軽減の促進を図り介護サービスの質の向上や効率的なサービス提供に繋げていきたいと考えています。

財務面では、築 22 年を経過した建物維持管理のための設備更新に順次多額の経費を要してきているため、各事業の利用率の向上を図り適正な収益を確保し法人の「中期経営計画（令和 2～4 年）」に基づき事業運営を計画的かつ効率的に行い透明性の高い財務管理に努め法令等遵守を徹底して以下のように事業推進してまいります。

## 2. 経営理念

- (1) 利用者の意思、人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスを提供する。
- (2) 利用者の持つ能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう支援する。
- (3) 利用者や家族が安心して生活できるよう支援する。
- (4) 地域住民やボランティアとの連携・協力を深めるとともに地域の福祉サービスの拠点を目指す。

## 3. 稼働目標

	(利用定員)	(稼働率)
(1) 特別養護老人ホーム	58名	95%
(2) ショートステイ事業	9名	50%
(3) デイサービス事業		
ア. 地域密着型	18名	70%
イ. 認知症対応型	12名	60%
(4) ケアハウス	30名	80%

## 4. 施設運営

### (1) 特別養護老人ホーム

理念に向き合い、チームが連携して利用者により良いサービスを提供します。

#### 強 化

- ① 思いに寄り添った個別ケアの提供
- ② 専門性の高い知識と技術で生活援助
- ③ ノーリフティングケアの実践
- ④ 看取りケアの実現

#### 継 続

- ① 楽しみのある食生活や余暇活動の提供
- ② 介護事故の予防及び早期対応と再発の防止
- ③ 虐待及び身体拘束を発生させない体制
- ④ 災害及び感染対策に強い体制

## (2) 短期入所（ショートステイ）事業

在宅で生活される利用者が、施設の中でも可能な限り自らの生活習慣を変えることなく、尊厳的、自立的な日常生活が、安心して送ることができるよう支援します。

また、ご家族が、必要時あるいは一時的な休息をとることにより、より良い在宅生活が続くことを目的とします。

### 強 化

- ① 思いに寄り添った個別ケアを提供
  - ・不慣れな環境で安心して生活を送ることができるよう、思いに寄り添った援助で信頼関係を築き、利用者の心身に合った安全で快適な生活を支援する
- ② 介護事故の予防及び早期対応と再発の防止
  - ・介護事故を未然に防止できるよう、個人の心身状態に沿った環境整備とケア援助を行う
  - ・介護事故や疾病が発生した場合の早期対応を含めたリスクマネジメントの充実を図る

### 継 続

- ① ご家族、他機関と情報を共有し、意思や意向に沿った柔軟なサービスの提供
- ② 在宅生活を継続するための身体機能の維持活用
- ③ 不適切ケアを改善し、尊厳のある援助と虐待を発生させない体制
- ④ 災害や感染症対策に強い体制

## (3) デイサービス事業

### ア. (地域密着型)

利用者が可能な限り住み慣れた地域で、自立した生活または介護サービスを受けながら生活できるよう支援します。日常生活上において必要な支援および機能訓練やレクリエーションなどの高齢者同士の交流を設けることにより、心身機能の維持および、ご家族の介護負担の軽減を図ります。利用者がデイサービスを利用することにより社会参加ができることを目指します。

そして、他事業所に対するアピールや連携により、より一層の利用者確保に努めます。

## 強 化

- ① 他事業所やケアマネージャーとの連携を強化し、利用者増に努める
- ② 日常的に感染症予防対策を徹底し、施設に持ち込まないよう細心の注意を払う
- ③ 利用者の生活歴や現在の状況などのアセスメントを強化し、生きがいを持てるよう支援する
- ④ 利用者主体の支援策を構築し、「できる」を増やして達成感のある利用ができるよう支援する

## 継 続

- ① 職員個々のレベルアップと職員間の情報共有
- ② 利用者の身体的・精神的特徴を考慮した上での個人の健康状態の把握・対応

## イ. (認知症対応型)

認知症状の進行や身体機能の低下が著しい利用者に対し、ゆったりした居心地の良い家庭的な雰囲気の中で、心身の特性を踏まえ、症状の緩和や悪化の防止を図ります。また、尊厳のある自立した日常生活を営むことができるように個人の意思や希望、ご家族の要望等を把握し、利用者のペースに合わせ必要な援助を行い、利用者の満足度を高めるよう努めます。

## 強 化

- ① 利用者の認知症状、身体状況に応じた日常生活支援のためのサービスの提供
  - ・心身の変化に合わせた個別の援助を提供し、症状の維持向上を図る
  - ・利用者の体力や体調に配慮し、活動と休養のメリハリをつけ、充実した時間を提供する
- ② ご家族や他の介護支援事業者等関係機関との連携強化
  - ・ご家族とのモニタリングを3ヶ月に1回程度行う定期的なモニタリング及びカンファレンスを行うことで、ご家族の介護負担の軽減やご本人の意欲向上、心身機能の維持向上に努める

## 継 続

- ① 利用者が安心してゆったりと過ごせるような環境づくり
- ② 通所介護計画書に沿ったサービスの提供
- ③ 衛生管理の徹底及び新型コロナウイルス等感染症蔓延防止の徹底

- ④ 利用者が心地よい気持ちになれる接遇の徹底
- ⑤ 満足できる食事や楽しく食事できる環境の提供

#### (4) ケアハウス

入居者の高齢化や要介護者の増加がみられ、個々の日常生活動作の差も顕著になってきています。入居者の調和を保ち、穏やかに生活していただける環境づくりのため、個々への目配り・気配りを行うことでニーズやトラブルへの対応を、速やかかつ適切に対処できるよう努めます。

#### 強 化

- ① 入居者の心身の状態を把握し、その方に応じたサービスの提案と提供
- ② 入居者の声を傾聴し、施設サービス計画を充実させ、計画に沿った援助を実施する
- ③ 健康状態が損なわれた時に、速やかに関連先と連携し、早期治療ができるよう援助を行う
- ④ 入居者自身が、転倒防止への意識を高められるよう助言と環境整備を行う

#### 継 続

- ① 入居者が居心地よく過ごせるような施設の環境づくりに努める
- ② 感染症予防のため、正確な情報の提供、年間を通じて手洗い・消毒の声掛けを行う
- ③ 接遇力の向上を目指し、入居者や外部事業者との連携を強化する

### 5. 地域社会との連携

- (1) 各種行事を通じて、入所者の家族や地域との連携を図り、地域の中心施設としての役割を果たす。
  - 富田保育所、富田小学校との交流
  - みどりの郷夏祭りの実施（7月下旬）
- (2) ボランティアや介護実習生の積極的な受け入れ、地域福祉の推進に努める。
  - ボランティアの受け入れ
  - 実習生、介護等体験の受け入れ

○ 中学校での福祉体験学習への講師派遣

(3) 富田総ぐるみこども見守り隊への参加により、地域との関わりを強化する。

(4) 他地区災害時の応援、福祉避難所の機能強化、地区の防災意識の維持向上等に努める。

## 6. 職員関係

### (1) 職員配置状況

3.4.1

#### ① 特別養護老人ホーム（短期入所含む）

	職 種	現員	摘 要
1	施設長（管理者）	1	常勤、ケアハウス、デイサービス兼務
2	業 務 課 長	1	常勤、生活相談員と兼務
3	生 活 相 談 員	1 (1)	業務課長と兼務 1 名 常勤介護職員、介護支援専門員と兼務 1 名
4	看 護 職 員	5	常勤 3 名、非常勤 2 名
5	機能訓練指導員	2	常勤 2 名
6	介護支援専門員	2 (1)	常勤生活相談員、介護職員と兼務 1 名 非常勤介護職員と兼務 2 名
7	介 護 職 員	24 (3)	常勤専任 20 名、非常勤 4 名 常勤生活相談員、介護支援専門員と兼務 1 名 非常勤介護支援専門員と兼務 2 名
8	管 理 栄 養 士	1	常勤 1 名 ケアハウス、デイサービス兼務
9	栄 養 士	1	常勤、調理員と兼務 1 名
10	調 理 員	3 (1)	常勤 2 名 常勤栄養士と兼務 1 名、非常勤 1 名
11	事 務 員	2	常勤
12	用 務 員	3	常勤 1 名、非常勤 2 名
計		46 名	（正職 32、嘱託 1、パート 13）

② デイサービス（地域密着型・認知症対応型）

	職 種	現員	摘 要	
			地域密着型	認知症型
1	管 理 者	(2)	兼務	兼務（生活相談員）
2	生 活 相 談 員	2	常勤 1 名	常勤 1 名
3	機能訓練指導員	(1)	兼務（看護職員）	兼務（地域密着型看護職員）
3	看 護 職 員	1	非常勤 1 名（兼務）	なし
4	介 護 職 員	5	常勤 2 名	常勤 2 名、非常勤 1 名
5	運転手兼用務員	1	常勤 1 名	なし
6	調 理 員	1	常勤 1 名	なし
7	用 務 員	1	非常勤 1 名	なし
計			11 名（正職 7、パート 4）	

③ ケアハウス

	職 種	現員	摘 要
1	施 設 長	(1)	兼務
2	事 務 員	1	常勤
3	生 活 相 談 員	1	常勤
4	介 護 職 員	1	常勤
5	調 理 員	1	常勤
計			4 名（正職 4）

全部門 合計 61 名

内

正 規 職 員	43 名
嘱 託 職 員	1 名
パートタイム職員	17 名

(2) 各種会議・委員会の開催

	会議名	目的	対象者	開催状況
1	運営会議	業績向上にむけた連携	施設長他各部門代表 10名	2月に1回
2	BCP 運用会議	緊急時の事業継続計画の具体的な運用	施設長他各部門代表 10名	2月に1回
3	特養職員会議	業務推進 処遇方法検討 研修報告	処遇関係職員全員 30名	随時
4	特養入所検討委員会	入所判定会議	施設長、生活相談員、 看護職員、介護職員、ケアマネ、 第三者委員(2名) 7名	3月に1回
5	デイ運営推進会議	事業運営の透明性地域との連携確保	管理者、生活相談員、 利用者家族、民生委員、 市職員、包括支援センター職員	半年に1回
6	デイ職員会議	業務推進 処遇方法検討 研修報告	生活相談員、看護職員、介護職員	書面会議
7	各種委員会	業務推進	特別養護老人ホーム関係職員	
	◦ 身体拘束廃止	虐待予防と 身体拘束廃止	施設長、介護職員等 9名	3月に1回 随時
	◦ 事故発生防止	介護事故の予防 早期対応・再発防止	施設長、生活相談員等 10名 (デイ・ケアハウス合同)	3月に1回 随時
	◦ 褥瘡対策	専門性の高い 生活援助	施設長、看護職員等 10名	3月に1回
	◦ 感染症対策	専門性の高い 生活援助	施設長、看護職員等 13名 (デイ・ケアハウス合同)	3月に1回 随時
	◦ 医療的ケア対策	専門性の高い 生活援助	施設長、看護職員、 介護職員等 8名	2月に1回 随時
	◦ 食 事	楽しみのある食生活	栄養士、調理員、介護職員、 看護職員 4名	毎月1回
	◦ ショートステイ	地域との連携	生活相談員、看護職員、 介護職員、ケアマネ 4名	毎月1回
	◦ 接 遇	尊厳のある生活の提供 認知症ケア	生活相談員、看護職員、 介護職員等 10名 (デイ、ケアハウス合同)	毎月1回

### (3) 職員研修の実施

#### ① 研修目的

- 教育研修を通じて職員一人一人の能力開発を図り、施設全体のレベルアップを目指す。
- 職員の専門性の向上を図る意味で外部の研修に参加させ、思考を柔軟にし、職場の活性化を方向づける。
- 研修を通じ、他職種との協働体制の確立を目指す。
- 職員の「人間性」・「人間関係力」・「チーム力」・「職場の安全と効率化意識」を高め、人間的魅力と主体性のある福祉人として成長することにより、法人がめざす地域福祉サービスに貢献することを目的とする。

#### ② 外部研修会への参加

- 老人福祉施設協議会（全国、四国、愛媛県、東予地区）主催の研修会
- 愛媛県社会福祉協議会、愛媛県在宅介護研修センター主催の研修会
- 社会福祉施設経営者協議会（全国、四国、愛媛県）主催の研修会
- その他医療・福祉団体等主催の研修会

#### ③ 内部研修の実施

- 新規採用職員を対象に初任者研修
- 利用者の処遇向上の為の実務研修（口腔ケア、排泄援助、ポジショニング）
- 一般職員を対象に人間力・現場対応力向上研修
- ネット配信を利用した専門性の高いフォローアップ研修会

## 7. 設備更新、備品購入計画

① ケアハウス居室用エアコン（3台）	363千円
② 電動ベッド（3台）	620千円
③ 制度改正費用	275千円
④ ガス給湯器マルチシステム	10,450千円
⑤ 井水切り替え工事	6,490千円
⑥ ICT・介護ロボットを活用した備品購入費用	合計 7,213千円
・ 介護マットセンサー導入費用	5,720千円
・ ベッドサイド水洗トイレ	470千円
・ マットセンサーWi-fi 工事	1,023千円

